

会 報 八 幡 平

編集・発行

一般社団法人八幡平市観光協会

責任者

会長 田村正彦

◆八幡平市長へ予算要望提出

11月24日(木)、八幡平ハイツにおいて、佐々木市長、田村副市長、佐々木商工観光課長、松村課長補佐兼自然公園係長及び伊藤観光振興係長ご出席のもと、当協会から田村会長ほか理事7名、監事1名および事務局3名が出席し、令和5年度八幡平市予算編成にあたっての要望事項を三役会議、総務・事業委員会及び理事会を経て田村会長から佐々木市長に提出し、その概要を説明しました。要望内容は下記のとおりです。



- 1 八幡平市観光振興対策事業の推進について（継続・重点要望）
- 2 十和田八幡平国立公園誘客対策事業の推進について（継続要望）
- 3 岩手山・八幡平・安比高原 50 kmトレイル(登山道)の整備等について（継続・一部新規要望）
- 4 ガイドの養成について（新規要望）
- 5 八幡平ドラゴンアイ混雑時の対策について（継続要望）
- 6 訪日外国人誘客促進事業の推進について（継続要望）
- 7 SDGs への取り組みによる教育旅行誘致組織の編成と地域探求ワークブックの作成及び教育旅行ファムツアーの取り組みについて（継続・一部新規要望）
- 8 八幡平自然散策バス運行事業について（継続要望）
- 9 スポーツ施設を活かした各種スポーツ大会及び合宿誘致について（継続要望）
- 10 スポーツ誘致宿泊助成金支援について（新規要望）
- 11 宿泊誘致に特化した新たな地域イベントの創出支援・誘客イベントの一部費用支援について（新規要望）
- 12 八幡平市宿泊助成金支援について（新規要望）
- 13 ホームページ強化に関する予算追加について（継続要望）
- 14 観光振興に係る各種環境整備について（継続・一部新規要望）

市からは「岩手山・八幡平・安比高原 50 kmトレイル」について、知名度が上がっていますが、具体的な入込データによる市内への経済波及効果の検証も必要との意見や、継続要望している二次交通整備について、路線バスの継続維持が先の問題であり、A I によるオンデマンドタクシーの活用について情報提供されるなど、具体的な課題について意見交換が行われました。

コロナウイルス感染症収束後の市への観光客、特に訪日外国人入込の復活が望まれますが、観光の経済効果は、地域内の幅広い産業に波及効果が期待されることから、さらなる交流人口の拡大を図る為、引き続き観光振興の推進と各種観光施策にご助力をお願いしました。

◆会議報告

第1回事業委員会(令和4年9月5日(月) 13:30) 委員等11名、欠席4

八幡平紅葉まつりについて (前年度開催要項を踏襲)

令和5年度予算編成にあたっての要望事項について (検討)

第2回事業委員会(令和4年9月27日(火) 13:30) 担当役員ほか委員8名、欠席8

令和5年度予算編成にあたっての要望事項について (一部修正、一項目追加のうえ承認)

第1回総務委員会(令和4年11月7日(月) 11:00) 担当役員ほか委員2名、欠席1

令和5年度予算編成にあたっての要望事項について (承認)

一般社団法人八幡平市観光協会継続雇用制度実施規定の一部改正について (承認)

第3回理事会(令和4年11月11日(金) 10:00) 役員10名出席、欠席5

報告第1号 業務執行理事の職務執行状況について

議案第1号 令和5年度八幡平市予算編成にあたっての要望事項 (承認)

◆秋の味覚大集合～八幡平山賊まつり

10月8日(土)～10日(月・祝)の3日間、紅葉や秋の味覚を楽しむ「八幡平山賊まつり」がさくら公園イベント広場で開催されました。(主催:八幡平市観光イベント実行委員会)

初日は雨天となったものの3日間で18,100の方に来場いただきました。ステージでは地元中学生による吹奏楽演奏をはじめ八幡平市観光大使「漆原栄美子」さんの民謡歌謡ショーなどで賑わいを見せたほか、飲食ブースでは地元の特産品販売や屋台コーナー、キッチンカーによる出店、姉妹都市宮古市や友好都市沖縄県名護市の特産品販売など35店による出店となりました。

また物産館あすびーて前ではIGRミニ電車や樋下建設の重機展示、高所作業乗車体験に多くの家族連れが列を作りました。



両イベントにご協力頂きました
皆様に感謝申し上げます。

◆紅葉を満喫～八幡平紅葉まつり

10月15日(土)～16日(日)に岩手県民の森フォレストアイ駐車場にて「八幡平



紅葉まつり」を開催しました。天候は初日雨でしたが翌日は晴れ、付近の森の大橋が紅葉見頃となり、紅葉ツアーバスの立ち寄りや家族連れで賑わい、2日間で約2,500人が来場しました。会場内ではフリーマーケットや飲食屋台コーナー、メインイベントの紅葉ウォーキングには松川溪谷玄武岩コースに述べ16人、七滝コースに25人、滝めぐりコースに

13人が参加し、紅葉見頃の森の中を八幡平自然散策ガイドの会が案内しました。その他ステージイベントではチェーンソーアート披露や子供達のヒップホップダンスなどを行いました。

◆笑顔と涙の沿岸交流事業

～松尾地区小中学生とのふれあい継続

11月24日（木）に八幡平市松野小学校において松野小学校1年生～4年生との交流事業が行われ、姉妹都市宮古市、山田町から37名が1泊2日で八幡平市を訪れました。

一行は昨年まで当協会が実施していた沿岸地区との交流事業に参加されている方々で、10年継続している松野小学校の交流学习に、初回から協力いただいている方も多数おります。学校側と沿岸地区の皆さんの要望をうけ、宮古観光文化交流協会からのバス運行協力のもと、当協会事業として実施に至りました。

松野小学校体育館では学年ごとの劇や歌を観賞、地元クイズなどで交流を楽しみ、「孫に会えたようでうれしかった」と笑顔と感激の涙が見られました。

また11月30日（水）には、松野小学校校外教育活動で6年生16名が宮古市田老を訪問、田老地区、宮古市内から13名の参加協力を得て行われた交流を支援しました。近い距離での交流は、児童の貴重な学びの場となった様子で、参加者からは「元気をもらった」との感想が聞かれました。



さらに12月13日（火）午前中には八幡平ハイツにおいて松野小学校5年生との餅つき交流、午後からは松尾中学校で2年生との交流会が企画され、サイコロゲームやフリースークによる交流、合唱披露などが行われました。

8月23日には松尾中学校3年生による宮古市「道の駅たろう」での交流会も行われており、10年前に被災者支援で始まった「リフレッシュ事業」が沿岸地域の皆さんと小中学生のふれあいの種となり、時を重ねて芽を育んでいます。交流を契機として度々八幡平市を訪れる方もあり、学びの場として、また癒しと元気を生む機会として事業の継続を願う声が寄せられています。

8月23日には松尾中学校3年生による宮古市「道の駅たろう」での交流会も行われており、10年前に被災者支援で始まった「リフレッシュ事業」が沿岸地域の皆さんと小中学生のふれあいの種となり、時を重ねて芽を育んでいます。交流を契機として度々八幡平市を訪れる方もあり、学びの場として、また癒しと元気を生む機会として事業の継続を願う声が寄せられています。

交流を契機として度々八幡平市を訪れる方もあり、学びの場として、また癒しと元気を生む機会として事業の継続を願う声が寄せられています。



◆八幡平ゆきフェスティバルについて

八幡平市観光イベント実行委員会は、今年も「八幡平・安比ゆきフェスティバル」を令和5年2月4日（土）から2月28日（火）に開催します。

2月4日（土）～5日（日）の第11回八幡平エンジョイ雪合戦大会をオープニングに、市内飲食店での雪だるまフードの展開、指定宿泊施設宿泊者限定で買い物・温泉入浴などの特典が受けられる「湯けむりトクトクバッジ」など、冬の八幡平市内を巡っていただく内容で準備を進めております。



これまで同様に企画への参加についてご協力をお願いいたします。



八幡平市PRの目的で、イベント等で使用する「のぼり旗」、「スタンド付きバナー」、「布製ポスター（B1）」などの貸し出しが可能です。デザインは八幡平四季、八幡平ドラゴンアイなど自然の風景がモチーフです。ご希望がありましたら当協会までお問い合わせ下さい。



◆いわて八幡平白銀国体開催

～白銀に 映えるみんなの 夢・未来～

令和5年2月17日(金)から20日(月)の4日間、八幡平市内で特別国民体育大会冬季スキー競技会が開催されます。

開幕まで2カ月を前に、12月16日、実行委員会では盛岡駅構内での大会PRが行われ、市内では11月には田山小学校でリンドウのしおりづくり、先頃は安代小学校で選手団に向けた応援メッセージラベル作り、のぼり旗設置やノベルティ配布が始まる等、大会機運が盛り上がっています。

選手の皆さんを笑顔でお迎えし、それぞれの立場で選手の活躍と国体を応援しましょう。

(配宿業務は㈱JTB 盛岡支店が業務委託先となり進められています。)

◆路線バスを利用して八幡平の冬を満喫しよう！

岩手県北自動車では冬期の市内3つのスキー場や温泉、観光施設へのバスが運行します。

★盛岡駅西口⇄八幡平温泉郷（終点/八幡平マウンテンホテル） **高速道路経由**

(12月24日(土)～3月12日(日)まで毎日運行 予約不要) 料金/大人1,150円

★盛岡駅⇄安比高原スキー場 **高速道路経由**

(12月3日(土)～4月2日(日))

料金/大人1,150円 ※期日・曜日により運行本数が異なります。

(12/30～3/30間の金曜日のみ運行盛岡駅発21:50発は1,350円)

★安比高原エリア⇄八幡平温泉郷シャトルバス（終点/道の駅にしね）

(1月6日(金)～1月29日(日)までの毎週金・土・日祝日運行)

料金/1乗車大人200円(下倉スキー場～道の駅にしね)

大人500円(安比高原エリア～道の駅にしね)

※安比高原エリア内の乗下車はできません。

詳しくはパンフレット、ホームページでご確認下さい。



◆年末年始休館のお知らせ

松尾八幡平ビジターセンターは、冬期水曜休館と合わせて12月28日(水)～新年1月4日(水)まで休館となり、職員も不在となりますのでお知らせします。

期間中の緊急連絡先は下記のとおりです。



観光協会携帯1 090-1493-0380

観光協会携帯2 090-1932-7089

今年もお世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください。(職員一同)

あとがき：京都清水寺で発表された今年の漢字は「戦」。その年の世相を表す漢字が投票で決まるそうです。今年はロシアのウクライナ侵略や物価高による生活上の戦い、冬期五輪、ワールドカップの熱戦などありました。遡ると「金・密・令・災・北・・・」なども。来年は「富・豊・和・愛・帰・翔・・・」明るい漢字の年となりますように！（S）